

特別講演 1

「アルツハイマー病診療は難しくない！」

—日常臨床に役立つ診断と治療、介護のこつ—

成田記念病院 神経内科 部長

川畑 信也 先生

認知症に罹患する患者さんが増加してきています。認知症を専門とされないかかりつけ医の先生方の医院・クリニックにも物忘れを心配されるあるいは認知症ではないかと心配されて患者さんが受診あるいは相談に来られることが多いと思います。医療機関を訪れるご家族は、まず患者さんの状態が認知症に進展しているのか否かを調べてほしいのです。さらに認知症と診断された後、どのように介護を進めていったらよいのか、そのスキルを医師に求めているのです。本講演では、認知症を専門とされない先生方が外来で認知症、とくにアルツハイマー病が疑われる患者さんを診察した際、どのように診断を進めていくべきか、診断後にどのように治療あるいは介護を考えていくべきかについて述べていきたいと思います。物忘れ外来で 1500 名以上の患者さんを診察してきた演者の経験では、認知症診療のこつをマスターすれば、アルツハイマー病の臨床診断は難しくありません。